



『2016年熊本地震対応特別委員会』 活動報告会のご案内

2016年に発生した「2016年熊本地震」は最大震度7を観測する大地震でした。KABSEでは、熊本地震が発生した直後から被害調査や情報収集を始め、『2016年熊本地震対応特別委員会』を設置して、4つのWGで調査・研究活動を行ってきました。この度、『2016年熊本地震被害調査・分析報告書』として3年間の活動の報告書を纏めることが出来、この度、その講習会を下記の通り開催することになりました。

WG1では上部構造や支承の被害状況の分析を行い、WG2では橋梁基礎構造や堤防・盛土について分析を行ってきました。また、熊本県は全国でも石橋が多数現存する地域でもあるため、WG3で石橋の被害調査を行いました。そしてWG4では、GIS、UAVを活用した広域的な被害状況の分析や、地震動について分析を行ってきました。本講習会は、これらの活動報告を行った後、国土技術政策総合研究所・熊本地震復旧対策研究室の西田秀明室長から、3年間の被災地での復旧・復興の取り組みについてご講演を頂くことになっております。

今後の災害対策や耐震設計の高度化のために、熊本地震の教訓を後世に残していくことも、今の技術者の役割であります。是非とも多くの技術者の方々がこの報告書を手に取り、今後の技術開発に繋げて頂きたいと考え、この講習会を開催いたします。



講習会：2016年熊本地震対応特別委員会 活動報告会

主催：(一社)九州橋梁・構造工学研究会 (KABSE)

日時：2019年12月13日(金)

共催：(予定)土木学会西部支部

後援：(予定)国土交通省九州地方整備局, 熊本県, 建設コンサルタンツ協会, 日本橋梁建設協会, プレストレスト・コンクリート建設業協会, 日本コンクリート工学会九州支部, 地盤工学会, 東海構造研究グループ (SGST), 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター

会場：アクロス福岡 7階 大会議室 (〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1丁目1番1号)

定員：200名

参加費：正会員 6,000円, 非会員 7,000円 学生の参加は、次ページを参照してください。

参加費には報告書代も含まれています。

正会員価格はKABSE(1種, 2種)の他, 土木学会(正会員, フェロー会員)に適用されません。

継続教育：本講習会は土木学会認定CPDプログラムです。 認定番号：JSCE19-1563/5.4単位

申し込み：次ページをご確認ください。

締切日：2019年12月9日(月)

問い合わせ先：一般社団法人九州橋梁・構造工学研究会 事務局 (<http://kabse.com>)

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通1-1-1 サンセルコビル6F(株)長大福岡支社内

TEL/FAX：092-737-8570

E-mail：jim@kabse.com

○申込み方法【申込締切日:2019年12月9日(月)】

講習会の参加を希望される方は、下記の事項を記載の上、KABSE事務局 (jim@kabse.com) までメールか Fax にて送信願います。

記載内容

- 1) 講習会名「2016年熊本地震対応特別委員会 活動報告会」
- 2) 参加者氏名
- 3) 参加者氏名(ふりがな)
- 4) 勤務先
- 5) 所属部署名
- 6) 郵便番号
- 7) 住所
- 8) 電話番号
- 9) FAX 番号
- 10) E-mail
- 11) 他参加者(氏名、勤務先、会員種別)

12月9日(月)までに銀行振込にて参加費を払い込み下さい。なお、複数名で同時申込みの場合は、筆頭参加者名にて参加費をまとめてお支払い下さい。当日受付での精算は出来かねますので、ご了承のほどよろしくお願いたします。

お申込み後に届く「参加番号」を当日受付にてご提示願います。

申込みキャンセルは12月11日(水)までとします。12月11日(水)以降のキャンセル、及び当日欠席された場合、講習会終了後にテキストを送付いたしますが、返金は致しません。

○振込先

〔銀行振込〕(必ず個人名でお振込み下さい。)

西日本シティ銀行 天神支店

普通 2135164 一般社団法人九州橋梁・構造工学研究会

○学生の参加申し込みについて

KABSE 学生会員、土木学会学生会員は、無料にて参加申し込みを受け付けます。ただし、報告書の提供はありません。参加申し込みをする場合は、必ず指導教員経由でメールにて申してください。なお、学生会員ではない学生が参加を希望する場合は、非会員として申し込んでください。

- ・ 申込先：KABSE事務局 jim@kabse.com
- ・ 連絡が出来る指導教員の所属、氏名、連絡先(メールと電話番号)
- ・ 参加を希望する学生の氏名と学生会員番号

○報告書の販売について

本講習会で使用する『2016年熊本地震被害調査・分析報告書』は、講習会参加者以外への会場での販売はありません。講習会以降にKABSE事務局で有料販売(3,000円)致します。後日、事務局までご連絡ください。

『2016年熊本地震対応特別委員会』 活動報告会のご案内

〔プログラム〕



司会：岩坪要（熊本高等専門学校）

- 10:00 - 10:10 特別委員会設置目的と活動報告 松田泰治 委員長（九州大学）
- 10:10 - 11:45 WG1「鋼・コンクリート橋・構造物」の報告（95分 質疑5分含む）
- ・地震応答解析による被害橋梁の分析 田崎賢治（大日本コンサルタント㈱）
 - ・変位制限構造と橋台本体に着目した損傷状況に関する検討 梶田幸秀（九州大学）
 - ・詳細解析による鋼製支承の損傷状況に関する検討 末崎将司（㈱日本工営）
 - ・ゴム支承の被災状況整理および被災分析 植田健介（ゴム支承協会）
 - ・FE解析による大切畑大橋のゴム支承の破壊性状および被災メカニズムの推定 楠葉貞治（㈱PAL 構造）
- 11:45 - 12:45 昼休み
- 12:45 - 13:45 WG2「基礎・土構造」の報告（60分 質疑5分含む）
- ・橋梁基礎の被害と分析 梶田幸秀（九州大学）
 - ・秋津川における堤防の被害と分析 福本圭吾（三井共同建設コンサルタント㈱）
 - ・道路盛土における路面のうねり被害と分析 山本芳裕（㈱福山コンサルタント）
- 13:45 - 14:00 休憩
- 14:00 - 14:30 WG3「石橋」の報告（30分 質疑5分含む）
- ・石橋の被災調査と被災要因の検討及び復旧状況 山尾敏孝（熊本大学）
- 14:30 - 14:40 休憩
- 14:40 - 16:00 WG4「地震動および被害状況データベースの構築と分析」の報告（80分 質疑5分含む）
- ・強震記録の分析 名木野晴暢（大分工業高等専門学校）
 - ・特定地点の地震動の作成 荒木秀朗（株式会社構造計画研究所）
 - ・橋梁の3D デジタルデータの取得、保存と活用方法 湯前裕介（株式会社ホットプロシード）
 - ・GISを用いた橋梁被害情報のデータベース化 中村聖三（長崎大学）
 - ・統計分析を用いた被害状況の把握 藤見俊夫（熊本大学）
- 16:00 - 16:15 休憩
- 司会：梶田幸秀（九州大学）
- 16:15 - 16:55 特別講演会（講演35分+質疑5分）
 「平成28年（2016年）熊本地震による被害状況と3年を経た被災地の姿および復興への取り組み状況について」
 国土技術政策総合研究所 熊本地震復旧対策研究室 西田秀明 室長
- 16:55 - 17:00 閉会挨拶 永瀬英生 KABSE 会長（九州工業大学）